



輝け！日本国憲法のついで

1月19日、平和憲法を守る秩父地区実行委員会の主催で120名を超える参加者で秩父市に於いて集会が行われました。

講師は「9条の会」事務局長の小森陽一さん（現在・東京大学大学院教授）が、今の憲法をめぐる問題を点をわかりやすく話されました。

日本国憲法は今、大きな試練の時を迎えています。安倍首相は「国防軍の設置」や「集団的自衛権行使」などで、日本を「戦争する国」に近づきあげようとしています。

今こそ憲法を守るといふ一点で手をつなぎ歴史の教訓に背をむける安倍内閣を草の根からの世論で包囲し、行動にたちあげましょうとの提起がありました。



武器輸出三原則の見直し？

政府は、「武器輸出については、厳正かつ、慎重な態度をもって対処する」と国会決議し、三木首相の時「憲法の精神にのっとり」と武器輸出の事実上の全面禁止の姿勢をとってききました。この姿勢は、世界の中で日本のイメージを高め、平和や軍縮を掲げた外交での地位を高めてきました。

緊急と偽って

韓国軍に銃弾一萬発の提供

昨年暮れ、テレビでいきなり流れてきた韓国軍への銃弾一萬発の提供ニュース。国会にもかけず、武器輸出三原則に反し輸出する・既成事実づくりの安倍政権の決定に脅威を感じました。

韓国軍は、「緊急ではない。予備のためにもらったが、国から補充が届いた」と銃弾は返還されましたが。

なんと

国家安全保障局が動いた！？

昨年暮れに、国家安全保障会議設置法と 特定秘密保護法が強行採決されましたが、この国家安全保障局が、韓国軍への武器輸出の早い決定を下したことをテレビのコメンテーターがチラッと発言していました。国家安全保障局では、総理・官房長官・防衛

大臣・外務大臣の4人で素早い決定ができるとしています。

こんな大事なことがたった4人で決められてしまっているのでしょうか。

国家安全保障局は、アメリカのNSCをまねたものですが、イラク戦争では大量破壊兵器があると誤った判断の下、戦争が開始されました。

戦争を知らない、戦争の歴史認識を認めない政治家たちによる右傾化

武器輸出や集団的自衛権の行使を容認する動きなど、「戦争をする国」にむかうのは大変危険です。

日本が輸出した武器を使われる側の人たちは、日本を敵とみるでしょう。

太平洋戦争の加害者であり、世界で唯一の被爆国が、戦争を放棄した憲法をつくり、国際社会で積み上げてきた信頼や日本の国益など失うものも大きく、武器輸出三原則の見直しは平和主義を捨てるものです。国民をも危険にさらします。国会ですっかりと議論をしてほしいものです。

新米議員のひとりごと

常山 知子

先日、秩父の矢尾で秩父生協病院が主催する「健康フェスタ」がありました。

健康チェック（尿チェックや骨密度）を中心に、吹き矢、フラダンス等、様々な催しがあり組合員の交流の場でした。その中で、生協病院の職員の「ちちぶお茶のみ体操」（通称茶トレ）の講習はとても参考になりました。

「茶トレ？」聞いたような名称ではありませんか？そうなんです！1月の町報と一緒に体操のやり方が書いてあるパンフレットが配布されました。すでに実践している人、大にしまいこんでいる人、様々だと思いますが、ぜひ今日から始めましょう、無理せず、ゆっくりと毎日やることだけです。近所の人と集まって、お茶でも飲みながら気楽に！

ちちぶ医療協議会で作成した「茶トレ」パンフレットを配布するだけでなく、地域に入って「みんなで作ろう」と声をかけ、体操するきっかけをつくっていただきたいですね。ちなみに、私は『茶トレ』普及員です。

大企業の内部留保を賃上げに！
原発ゼロこそ経済に展望ひろく！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい
常山 知子 電話・FAX 62-6733